

実習内容
ならびに
スケジュール

臨床検査部

曜日	内容	担当	集合時間	集合場所
月	臨床微生物実習	山田	9:00	2号館4階合同カンファレンス室③
	昼食			
	臨床推論	朝倉	14:00	2号館4階合同カンファレンス室③
火	採血実習	宮崎	9:40	2号館4階合同カンファレンス室③
	昼食			
	臨床検査の使いこなし	森本	14:00	2号館4階合同カンファレンス室③
水	<感染制御部臨床実習>			
木	午前 <医療クオリティ臨床実習>			
	生理機能検査実習	柴山	14:00	8号館3階脳波・筋電図検査室
金	午前 <予備日>			
	午後 <医療クオリティ臨床実習>			

◎ 診療科名： 臨床検査部

◎ 責任者氏名： 朝倉 正紀 主任教授

◎ 指導教員氏名： 宮崎 彩子 准教授、森本 麻衣 助教、
中野 正祥 助教

◎ 実習概要

1. 採血実習、2. 微生物学検査実習、3. 生理機能検査実習などを行い、臨床検査領域における各種疾患の病態生理に基づいた適切な臨床検査の立案と検査結果の評価を目指す。

◎ 各診療科における到達すべき学修成果（アウトカム）

（臨床実習の授業概要「到達目標（アウトカム）」に準拠する）

- ・ 臨床検査の感度、特異度、尤度比、的中率を説明できる。
- ・ 検体処理・保存方法を説明できる。
- ・ 精度管理とその重要性を説明できる。
- ・ 検査診断のプロセスを説明できる。
- ・ 臨床検査値から病態を判断できる。
- ・ 安全に静脈採血ができる。
- ・ グラム染色標本作製できる。
- ・ グラム染色像から起因菌を予想できる。
- ・ 筋電図検査の手順を説明できる。

◎ 準備学修ならびに事後学修に要する時間

- ・ 静脈採血手技、グラム染色標本作製手技、筋電図について復習しておくこと（2時間）
- ・ 2年次「臨床入門」、3年次「検査学」の講義資料をよく復習すること（1日程度）
- ・ 「検査値を読むトレーニング」(医学書院)、「異常値の出るメカニズム(第7版)」

(医学書院)、「標準臨床検査医学(第5版)」(医学書院)などをよく読んでおくこと(2日程度)

◎ 評価方法

(知識、技能、態度についてS、A、B、Cで評価。評価基準をループリックで明示)。

	S	A	B	C
知識	実際の症例に感度、特異度、尤度比、的中率を応用することができる。	感度、特異度、尤度比、的中率を説明できる。	感度、特異度、尤度比、的中率について理解している。	感度、特異度、尤度比、的中率について部分的に理解している。
	精度管理の実際のデータをみてアセスメントができる。	精度管理とその重要性を説明できる。	精度管理について説明できる。	精度管理の重要性を理解している。
	検体検査結果から病態について正しいアセスメントをすることができる。	検体検査結果から病態を予想することができる。	検体検査の各項目がどのような病態で異常値を示すか理解している。	検体検査の各項目がどのような病態で異常値を示すか部分的に理解している。
	一般的なものに加えて特殊な検体処理と保存方法について説明できる。	一般的な検体処理と保存方法について説明できる。	一般的な検体処理と保存方法について理解している。	一般的な検体処理と保存方法について部分的に理解している。
	グラム染色像をみて次に行うべき検査および治療を説明できる。	グラム染色像をみて起因菌を予想できる。	グラム染色像をみて判定ができる。	グラム染色像をみて染色が十分か判断できる。

技術	他のメンバーに静脈採血法を指導できる。	安全に静脈採血を行うことができる。	静脈採血の手法を理解している。	静脈採血に必要な物品を理解している。
	他のメンバーにグラム染色標本作製を指導できる。	グラム染色標本が作製できる。	グラム染色標本の作成の方法を理解している。	グラム染色標本の作成の方法を部分的に理解している。
	筋電図検査の補助ができる。	筋電図検査の手順について説明できる。	筋電図検査の手順について理解している。	筋電図検査の手順について部分的に理解している。
態度	疑問に思ったことを自分で調べ他のメンバーに教えることができる。	積極的に質問する。	教員に質問されれば答えるが自分からは質問しない。	教員に質問されても答えない。
	実技実習で他のメンバーの手助けができる。	実技実習に積極的に取り組む。	実技実習に参加しているが、やや消極的。	実技実習に積極的に参加しない。
	時間通りに出席し、自分から挨拶をする。	時間通りに出席し、挨拶をする。	時間通りに出席するが、挨拶をしない。	遅刻や無断欠席がある。挨拶をしない。

◎ パフォーマンス評価

臨床検査部における各種実習毎に評価を行い、総合して判定する。

適宜質問を行い知識の確認、理解度をはかる。

技術、態度については実習中のパフォーマンスを評価する。

◎ 中間評価とフィードバック

実施しない。

◎ 注意事項

時期により集合時間が異なるので間違えないようにしてください。

2024年11～12月

- ・初日は9時30分に2号館4階合同カンファレンス室③に集合すること。

2025年1～3月

- ・初日は9時00分に2号館4階合同カンファレンス室③に集合すること。